

令和5年度 学校経営方針

学校教育目標

北九州市立熊西小学校



児童の豊かな人間性・確かな知性・たくましい心身の健康を培う

○正しい判断力、創造性の育成 ○確かな学力の向上 ○健康や体力の増進

学校経営の基盤

- ◇ 公教育の立場を踏まえて
日本国憲法・教育基本法・学校教育法等諸法令・第2期北九州市子どもの未来をひらく教育プラン等に準ずる。
全体の奉仕者としての自覚と責任感、使命感をもつ
- ◇ 時代を見極め、社会の要請に応える新しい学校教育の創造を行う
Society5. 0、STEAM教育
チーム熊西⇒全教職員が子どものため結束・協力する教育課題への対応
働き方改革⇒子どもファースト&業務改善プログラムの融合
必要なことに骨太に取り組む筋肉質の学校

5年度重点目標

- 安全で安心な学校づくり
 - ・ 生徒指導の充実、安全対策の徹底
- 子どもの意欲を高め、個及び集団を伸ばす教育
 - ・ 体験活動の重視・ICT・タブレットを活用した授業づくり
- 思いやりの心の育成
 - ・ 心に響く道徳科授業
- 特別支援教育の充実
 - ・ 特別支援教育への意識の向上

校区の特性

校区は北九州市の副都心黒崎の西南に隣接する位置にあり、駅、デパート、専門店街などに近いことから企業の社宅やマンションなどが多い地域。また長崎街道の名残をとどめる曲里(まがり)の松並木やスポーツゾーン、警察・役所などの公的機関、総合病院をはじめたくさんの病院、ホテルなどがあり歴史的・文化的な風情を感じることができる地域。多くの子どもが昼休み運動場で遊んだり、高学年が低学年をお世話したりする姿も見られる。保護者は、教育熱心でまた学校の諸活動にも協力的で、学校ボランティアの活動にも積極的に関わっていただいている。(HP PTA 紹介文より一部抜粋)

徹底する指導

- 学習規律の徹底(熊西小学校スタンダード)
 - ・ チャイムで始め、チャイムで終わる。
 - ・ チャイムまでに次時の学習道具をそろえる。
 - ・ 机をそろえる、姿勢を正しくする。
 - ・ 正しい言葉遣いで話す。
- 学力向上・体力向上
 - ・ ICT・タブレットを活用した授業づくり。
 - ・ 持久走大会等目指して体力アップ。
 - ・ 1時間の体育の活動量を増やす。
- 「分かる・できる」を実感できる学習
 - ・ ミニテストでできる(達成感)の感覚をもたせる。
 - ・ 学習後の振り返りで価値付け⇒評価の工夫
 - ・ 話し合い活動の充実。
- 45分を集中させる展開
 - ・ 教師の話は短めに。しかも視聴覚でシンプルに。
 - ・ ポーッとする隙を与えない。(やると得するシステムに)
 - ・ 話し合い、教え合い、学び合う学習集団。
 - ・ ノート記入、ペア学習、グループ討議で集中させる。
 - ・ 目標時間で区切って短時間で仕上げさせる。(小課題短時間で)
- 特別支援教育の深化・充実を図る
 - ・ 特別支援学級との連携。交流学习。
 - ・ 特別支援を要する児童には特別な配慮を。(トラブル避ける環境)
 - ・ ユニバーサルデザイン、インクルーシブ教育の視点をもつ。
- 専科指導及び一部教科担任制の効果的実施
 - ・ 専門性を活かした質の高い指導。
 - ・ 時間の有効活用と共助。

規範意識と自己尊重

- 規範意識の徹底
 - ・ あいさつはどこでも、誰にでも。
 - ・ 黙々掃除 一つ・どこを・どのようにするか手順と方法を明確に示す。
 - ・ 時間を守る 待たない・途中でも終わる。
 - ・ 通行ルール 右側通行、時速4キロ、弱者優先、保健室前等特に静かに。
 - ・ 靴そろえる 下駄箱の靴・机・ランドセルをそろえる、体操服そろえる。
- 自己実現を目指す生徒指導の推進
 - ・ 問題事象には理由がある。問題の背景に寄り添う姿勢を忘れずに。
 - ・ 問題事象は、主任・担当・管理職への報告及び、即日対応、家庭訪問。
 - ・ いじめ調査、聞き取り。全市統一調査年一回以上。
 - ・ 事が起きてからではなく、事が起きる前に指導する。(健康観察を大切に)
 - ・ 全職員で「熊西小学校スタンダード」を徹底する。
 - ・ 「熊西小のよいこのきまり」を徹底させる。
- 人間としてよりよく生きる基盤を養う(特別な教科道徳科の実施)
 - ・ 主体的判断のできる、自立した人間として他者と共によりよく生きる。
 - ・ 誰も見ていなくても、してよいこと・悪いことを区別して実践する。
 - ・ 心の広い大きな人。(損得感情)
- 人権感覚を育む人権教育の推進
 - ・ 日常生活の中に温かい言葉を増やそう。
 - ・ 体罰・言葉の暴力の禁止は言うまでもない。連帯責任の禁止。

チーム熊西・職員係

- 学び合う教師集団の育成
 - ・ メンティ制度の活用による業務改善。
 - ・ 事務削減して子どもとふれあう時間を捻出する工夫を。
 - ・ 定時退校(金)ON/OFF切替。市の指針45h以下に。
 - ・ 綱紀粛正(飲酒運転撲滅、個人情報保護、体罰・セクハラ撲滅等)
 - ・ 誰もが一つは校務の提案で学校全体を動かす。(決まったら協力)
 - ・ 情報共有が肝心。管理職や主任に必ず。(学年行事等の事前連絡)
- 保護者との結び付きの強化
 - ・ 出会ったら保護者によいことを発信する姿勢で。
 - ・ 保護者は子育てに悩んでいる。相談に乗る気持ちで。
 - ・ 通信、HP、一斉メール等で学校・学級の様子を知らせる。
 - ・ 学級・学年通信等対外文書はチェックを受ける。
 - ・ 学習参観は元気で明るい姿を見せよう。(服装等見た目は重要)(学習参観、運動会、開放週間、作品展等)
 - ・ PTA活動への積極的な参加・協力。
 - ・ 学校評価制度、アンケートで保護者にも参画意識を。
- 地域との結び付きの強化
 - ・ 地域の教育ボランティアへ感謝の気持ちを示す。
 - ・ 地域行事への積極的参加。
 - ・ 学校運営協議会との連携(年2回会議の実施)。
- 園・小・中との結び付きの強化
 - ・ 保幼小中連携事業への積極的参加。
- SDGs未来都市を意識した教育
 - ・ 教育指導計画書に明記。
- STEAM教育の実践
 - ・ 日産財団の助成を受け響灘ビオトープと連携し、「都市と自然との共生するまち」をつくることのできる未来の担い手の育成。

安全第1

- 健康教育の充実を図る。
 - ・ 徹底したコロナ対策。
 - ・ 8:45までに健康観察、居所把握。
 - ・ 怪我は原因究明し、保護者へ当日必ず連絡する。(連絡帳は×)
 - ・ 怪我の病院行、病気の帰宅は管理職に必ず相談を。首から上は必ず病院へ。
 - ・ 不登校、無断欠席、2日連続欠席は家庭訪問。

- 防災教育の充実を図る。
 - ・ 交通安全指導・安全点検の実施。
 - ・ 登校時刻、下校時刻の遵守。
 - ・ 防災訓練の実施。
 - ・ 校外学習は1週間前に届け提出。